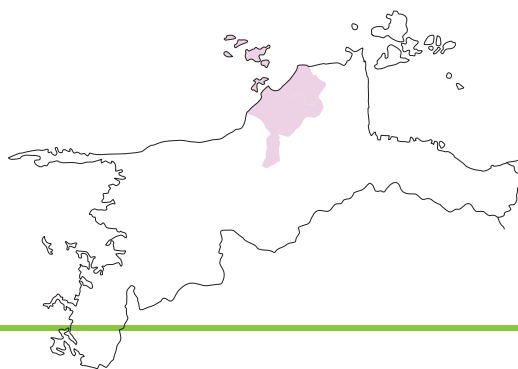


株式会社 TAMU



松山市

紙製高級弁当容器の製造・販売事業

1 事業内容

独自に開発した紙製の和樽容器を活用したおせち容器や高級和膳について、製造工程の機械化を進め、新しい製造ラインを構築するほか、斬新な柄にデザインされた容器作りにも取り組み、全国のホテルや料理店などへの販売を行う。

2 事業背景

環境問題などの背景から、県内の食品製造業の一部では、プラスチックや発泡スチロールなどを素材とした容器を紙製容器に替えたいという要望が高まっており、使用後のリユースやリサイクルが可能で、強度や冷蔵・冷凍耐性も備える紙製容器の試作、改良に取り組んでいた。

これら紙製容器は高い評価が得られるようになったものの、既存の製造ラインを組み合わせて手作りしていた状況であったため、要望に対応できる体制となっていなかった。



3 事業、技術、商品の特徴

和樽（紙ダル）の製法は、弊社が特許開発したものであり、円型、楕円型のおせち容器、高級和膳容器は全国的にも珍しく、特に糊シロの段差がない点など機能性に特徴がある。

商品は使用後の容器を手で簡単に分解できるので、お客様自身がコンパクトな形でゴミ処理ができ、再生紙へリサイクルが可能となる。

さらに、紙の暖かさ、やさしさが感じられ、紙質やデザインを変えることが容易で、プラスチックや発泡スチロール素材のものに比べ、食材を入れた時に臭いにつかないという利点がある。

4 助成内容及び効果

導入した設備は、これまで手作業が必要であった部分についてオートメーション化するものであり、省力化・作業者の負担軽減など、効率化が図られた。

「紙ダル和樽」商品のデザインについては、デザイナーとの協議を重ね、天面を窓あきにして中が見えるようにするなど今迄に無い斬新なデザインを採用することとなった。一部の取引先からは、おせち容器としては現代的すぎるとの声や従来品と比べて重厚性の面で弱いなどの意見があったものの、客先数は従来より新規に増え、また同商品を購入していただいた客先から、当社の他商品について、別途受注するに至るなど、相乗効果が見られている。

5 今後の展望

容器の斬新さから、洋菓子店からの受注をはじめ、従来の主力商品であったおせち容器から派生したお花見弁当容器への展開も図られている。今後は、愛媛県はもとより全国へと営業活動を展開し、さらなる受注拡大を図っていく。

容器開発に終わりは無いと考えており、次の展開として「豪華さ」をイメージした新商品についても開発に取り組んでいる。



田村社長

Message From Entrepreneur

資金力はもちろん、営業力と製造力の両輪が重要ではないかと思えます。

企業概要

〔代表者〕 代表取締役 田村 克彦
 〔住 所〕 松山市久万ノ台310番地1
 〔設 立〕 平成15年2月
 〔TEL〕 089-926-1711
 〔FAX〕 089-926-1710
 〔URL〕 <http://www.geocities.jp/tamunohako/>